



豊畑和進

令和8年3月3日発行 No. 11

児童数 159名

学級数 9 (3)

HPへはここからどうぞ



人との絆とは？

校長 松野 彩直

AI（人工知能）時代が到来し、悩み事の相談先や話し相手としてAIを頼る人は多いようです。中高生でも苦しくなったときの相談先にAIを選択する人が多く、時代に乗り遅れている昭和生まれの私は、驚きを隠せませんでした。

嬉しいことがあったときに、真っ先に誰かに話したくなる、悲しいことや辛いときに一人では抱えられない悩みを親しい人に話して気持ちを軽くする、たわいもない話で笑い転げるといった経験は誰にでもあると思います。その反面、自分の考えを伝えても思うように伝わらなかったり、そんなつもりで言ったわけではないのに相手を傷つけてしまったり、ただ聞いてほしかっただけなのに思いもよらない反撃をされてイヤな思いをすることも多々あります。これらは、人と人との対話では当たり前のことです。自分と全く同じ考えをもつ人はいませんから、人と接すれば摩擦はつきものです。その摩擦から逃げてしまうことは簡単だけれど、立ち向かう小さな勇気をもつと、お互いにわかり合えたときの喜びは、かけがえのない人としての関係性『絆』が育まれていくと感じます。AIが出す答え（応答）は、正しいかもしれないけれど、私は『摩擦が起きても面と向かって相手と感情を交えた会話がしたい』と考えています。自分を知っている家族や友人に話し、聞いてもらい、受け答えする中で再度、自分の考えを深めるような、時間がかかる、いわゆる面倒くさい作業が私は好きです。

新聞記事にAI時代で唯一残るのは「人柄」とあるという記事を目にしました。以下、記事の抜粋です。「AIは永遠に疲れないうし、嫌がらないし、時間を問わず話し相手になってくれる。一方、友人や結婚相手、パートナーは疲れもするし、機嫌が悪かったり他にやりたいことがあったり、さまざまな感情を抑えてそれぞれの人柄でつきあってくれる。人生の有限な時間を自分に分けてくれる。優しく、ありがたくて、かけがえのない存在です。そうした人柄だけは代替できません。」

来週3月14日に卒業式が行われます。豊畑小学校で6年間共に学び、遊び、切磋琢磨した仲間との一区切りであり、中学校生活へのエールを送る式でもあると思います。巣立っていく卒業生には、唯一無二の人柄に自信をもち、自分自身を肯定し、お金では買えない、人と人との絆を大切に羽ばたいてほしいと願っています。時にAIと上手にお付き合いしながら・・・
参考文献：令和8年3月1日付け千葉日報1面記事より

令和7年度も残すところあと15日となりました。一年間、本校に対するご理解、ご協力をいただきありがとうございました。いつも各ご家庭や地域の皆様に温かく見守り、支えていただいたおかげで、子どもたちの学校生活も楽しく充実した毎日になりました。心より感謝申し上げます。新年度も引き続き、ご支援の程よろしく申し上げます。



感動！！6年生を送る会が行われました

2月27日(金)6年生を送る会が行われました。5年生が中心となり準備をし、それぞれの学年で劇やダンスを取り入れ楽しい発表をしました。在校生は、6年生にちなんだ内容を考え、観ていた6年生も思い出を語り合い、笑いあり、涙ありのあっという間の時間でした。以前にお世話になった先生方からのメッセージや6年生からの御礼の劇も含めて、心温まる素晴らしい会となりました。子どもたちの独創性や人を喜ばせたいという無限の底力を感じることができました。

